

生徒の精神發達段階に即する即應性と、興味性の二つの立場から如何なる價値があるかといふ心理的な考察がなされた。

圖書目錄の分類は、學習指導要領一般編の教科目の名稱にならつて次のように分類している。

- 1、文 學（國語と日本語であつたが、特に自由研究・校友會などの名稱と一致させた）
- 2、社 會
- 3、教 學
- 4、理 科
- 5、音 樂
- 6、圖畫・工作
- 7、體 育
- 8、職 業
- 9、外 國 語
- 10、一 般
- 11、新聞・雜誌
- 12、其 の 他

そしてさきの父兄會の援助を機會に、校内で最も静かで明かるい裁縫室に移轉して、Library（圖書室）として再出發することとなつた。益々充實させ、名實共に Library の名にふさわしく圖書室にしようとの生徒の希望と活動は、一般父兄にも呼び掛け、藏書の中から適當なものがあるつたら大いに寄贈してもらおうということになり、大要次のような印刷物が配布された。

先ず、文化諸國家に於ける學校圖書室の重視と、わが新教育法令の規定などについて述べ、明日の日本を築くべき生徒たちのために格別の理解と支援を願いたい旨書き記したものであつた。これが相當の効果を修め、各家庭からつきつきに寄贈されつつある。しかし藏書の充實は、早急に理想的なものにまでは困難であるから逐年計畫でやつて行きたい。將來は市井の圖書館にも劣らぬ立派な圖書室にしたいと生徒の努力は續けられている。先般、インド教育使節團一行が視察に來校したが、特に圖書室の設備、經營について關心を寄せており、案内の野口校長にいろいろと質問があつた。

現在のところ、貸出しの世話は校友會文學部の生徒がやつている。先ず借りたい者は、所定のカードに希望の書名を書いて掛りに渡す。掛りは書棚から本を出して渡すといつたかたちをとつており、室外帯出は未だ認めていない。追々に帯出できるようにしたいと考えている。

## 二、ラジオ教育の經營

### (一) 新しい教育技術

放送教育は、新しい教育技術の一つであると言えよう。現在の日本の經濟的事情から考えても出来るだけ教育を助ける爲に、あらゆる資源が活用されなければならぬ。従つて此のラジオという機械による教育のために教師は力をいたす必要があり、これは又、新しい教育の媒介とも言えるし、益々先へ進む價値のあるものであると信ずる。故に先ず、教師がラジオに理解を持ち、賢明に使用するならば、そこから教育の價値が生れて來るであらう。いふまでもなく放送は、最も良い作家により、最も良い脚本が書かれ、最も良いプログラムによるのでなければならぬ。ラジオは如何なる國家においても、最新式教育の媒介として使われるべきであり、又教師たるものは、誰もがもつと深く研究しなくてはならないものである。

#### 放送教育の長所の第一は、

ラジオは時間的なものである。何れの國でも、印刷された教科書は、その時代より後になつてゐる。教科書は紙の不足、印刷、價格の點などにも抑制されて、世相に應じ簡単に毎年新しく作るといふようなことは困難である。ところがラジオは、良い作家に書いてもらふと、今思つてい

ることがラジオを通じて直ぐ利用され、常に新しい生のものを供給することが出来るのである。考え方によつては、新しい教育の發展とも言える。

#### 長所の第二は、

他の教育の媒介物の與えることの出来ない感覺を與えるのである。すなわち今話している人の聲に直接に接し得るのである。トーカーなども、これに匹敵するものである。

### (二) 放送教育の重要性

放送教育の重要性などについて、今更何や彼やと述べる要もないが、C・I・Eも理解と支援を與えており、文部省も適當な援助と指導により、政策として取上げているのである。わが國の再建に學校教育の必要はいふまでもないことであり、ラジオ放送の利用價値の大なることも亦贅言を要さぬと言えよう。

放送教育は實施したいが、ラジオがないということをも、よく耳にする。全くラジオは聴取することの前に、先ず買うというむずかしい仕事があるわけである。聴取用の装置を取りつけることが先決問題で、設備のないところに放送教育は行われ得ないことは當然である。又ラジオはあるにはあるが、こわれているとか、ラジオはあるが電氣がないとかいふことを聞くが、そんなこと

では駄目である。ポータブルで蓄電池を使つてやれば、何時如何なるところででも利用し得るわけである。アメリカでは何うかというに、やはり例外なしにポータブルを使用しているそうであり、田舎などでは蓄電池を用いるものを多く使用しているそうである。

先ず、ラジオがあつたら、教師は責任を持つて取扱うことであると思う。良い先生とは、ラジオ放送を如何に取扱つていくかによつて、判断されるとも言えよう。ポータブルなら、教室の真中に置くのがよいであろう。片隅に置いて音を大きくするのはいけない。放送の開始される以前にスイッチを入れれば直ぐ聴取出来るように調整して置くことが大切である。調整に時間がかかつてしまつて、実際には聴取出来なかつたということのないようにしなくてはならない。かくして、音が悪かつたら、切つてしまつて聞かない方がよいのである。ラジオの聲に對しても、本當の人間に對して持つていけると同じような尊敬の念を持つて聞けば、如何に良く聞えるかに驚かされるくらいである。このように考えて來ると、ラジオを學校で使う仕事はやさしいことではない。教師の非常な努力が要る。従つてラジオを良く使うことを學ぶならば、教師としても向上することが出来るとも言えよう。

しかし、現在の學校放送は、文部省や日本放送協會が獨占的に中央のみから實施しているが、中央のみから放送する機構は餘り良いものとは言えない。それぞれの地方の特色を活かすよう工夫されることが望ましい。

### (三) 受信機について

ラジオ放送の利用には、プログラムの内容が最も重要であることは勿論であるが、最も適當な受信機が必要となるのである。最も適當な受信機とは如何なるものであるかというに、先ず音質について満足のいけるものでなければならぬ。結局優良装置が必要なのである。音質について不足の場合は聴取しない方がよい。これには部屋の状況とか、擴聲機の取付場所にも關心を持たなくてはならない。又取扱う人も、ラジオの機械について、技術の習得をしていることを要するわけで、日本再建に貢献するためには當然のことといわなくてはならない。

ラジオの機械も文部省あたりで、近く認定品制度を設けて、市場に進出させる計畫があるようである。真空管も、學校放送用真空管の斡旋をしているようであるから、現在生産されていない真空管を使用している受信機は、現在製作されている真空管に變える方が便宜であろう。

### (四) わが校の設備について

創立當初のわが校にはピクチャーの電着が一臺あつた。ピクチャーの電着と言へば如何にも堂々た

るもののように聞えるが、大事な真空管はいくつかなくなつていて、直ぐには使用出来ない代物であつた。放送教育に強い熱情を持つてゐる當校としては、一日も早く修理して放送教育室の經營をしたいと考え、計畫を進めた。校内の教師の中に、此の方面の技術に明かるい者もあつたが傷み過ぎていて、ちよつと手に負えなかつたので、専門のラジオ屋に来てもらつた。調子を見てもらつたが中々簡單には行かなかつた。そうこうしている中に幸いラジオの配給があつた。これを使つて、とりあえず聴取を始めた。最初適當な教室がなくて困つたが兎に角工作室を借りた。此處なら部屋も廣くて一學年ぐらゐは一度に聴取することが出来た。間もなく電蓄の修理も出来たので、種々研究の結果、配給のラジオは職員室備付けとし、電蓄を生徒の放送教育に用ゐることとし、蓄音機としても利用したいという事情から、今度は音楽室を放送教育室(Radio Class)とした。

### (五) 實施の狀況

完全な校内施設による全學年聴取を熱望しているものであるが、經費の問題でいま直ちには如何ともなし難い。先ず一個の受信機による一學年ずつの利用になつてゐる。現在、生徒の手により、受信機の備付、操作、保守などを行つてゐるが、將來は修理に至るまで生徒自らに當らせた

い。何といつても、ラジオは映畫と共に現代社會の最尖端を行く文化機關でもあり、きれいな音質で聽ける條件の下では、聴覺を通して、直接生徒を動かす影響力は大きい。

#### 1、放送預告板設置

正門を入つた廊下に黒板を利用して愛中新聞というのが設置されているが、この一部を借りて學校放送ニュース欄を設け、ラジオ掛の生徒の手により預告その他を掲示してゐる。

#### 2、放送記録簿

わか校では、全校生徒に特別に印刷した日記を持たせてゐるが、これに學校放送に対する感想・意見をなごをかかせてゐる。

#### 3、聴取指導

A、放送の預告を知る

B、聴取の準備

必要な参考書・掛圖類を準備し、

聴取計畫を樹立する。

C、聴取直前の指導(五分—十分)

(受信機の調節)

圖書室・ラヂオ教室の經營

放送題目、放送者の紹介

内容の梗概解説

学習方法話合い

D、聴取中の指導

要領摘録

補説

視覚に訴える（地図・掛圖）

注意集中訓練

E、聴取後の研究

不明事項の質問・處理

要領發表

實生活への指導

感想發表

教科に関連を持たず

八 體育、衛生

一、體育に關するの考慮

(一) 健康の要

體育指導に當つて基本となる考への第一は、健康増進をはかることである。吾人の生活は心身活動の連続であるから、その働きによつて生活の種々相が展開されると言えよう。就中、身體の狀況はしばしば喜怒哀樂の原因となり、一時、一日、一生涯の活動を左右したり限定もする。

ここに吾人の生活中、健康が無形の財寶として尊ばれ、最大の幸福であると喜ばれるのは當然のことである。又「健康を得ずして何のこの世かな」の俳句も人生が健康第一であることを言うに他ならないであろう。

そこで先ず我々は、合理的な運動・衛生によつて身體各器官の發育を助長し、鍛練して積極的に身體の増強を計らなければならない。

(二) 人格の陶冶

次には、運動・衛生を行うことによつて人格を陶冶することが擧げられよう。多くの人々の中

にあつて陸じく、明るい生活を營むには健康を勝ち得るとともに、人々と手を取り助け合つていく暖い気持ちや責任感が必要である。

健康でも責任のない人は他人に相手にされず、又責任感がどんなに旺盛でも體が弱くては果せないこともある。健康で責任ある生活活動が續けられれば本人の幸福の招來はもとより、他人が見てもうらやましい生活態度であるから、やがて尊敬される人格の持主となることであろう。

### (三) 青少年の自覺

健康と人格に就いては、われわれの對象としている青少年も自我に目覺めつつあるから、日々の生活中に幾度かその必要を感じることであろう。それはこの時期のものが幾つかの群團に分れて思い思いの指導者格のもとに集つて、程度の差こそあれ比較的秩序ある遊びや學習に一生懸命になつていくことからもうかがわれる。

### (四) 運動

青少年は生活環境が狭く經驗も少いから、運動を意識的又は意圖的に自己の健康増進、人格陶冶の糧として積極的に思慮行動することが困難である。又努力の方向を誤る場合が少くない。そこで知育も體育も偏重することなく、それが一體となつて指導されることが、心身の著しい

發達期にある青少年には特に望ましい。従つて體育は他教科と密接な連けいをとつていくことが最もその効果を促進することになる。そして初めて人間性の發展を企圖する體育の領域となり、中心となるものがクローズ・アップされ、特に健康増進と社會性の練れるスポーツが脚光を浴びて登場することになるのであろう。

### (五) 衛生

著しい心身の發達と並行して急激な運動を求める青少年の發育助長は、一應運動によつてその効果をおさめる。然し乍らその運動がとりあげられる前に青少年の發育狀況が調査されなければ個々人に適した運動を實施することは困難であり當を得ないことが生起する。従つて衛生は先ず青少年の發育狀況から生活環境の調査と指導によつて活動をはじめ、健康生活に必要な知識と習慣を漸次指導し體得させて行かなければならない。

ここに疾病の豫防、健康増進、公共の福祉と發展していく衛生教育の領域として具體的實踐事項がとり上げられることになる。

### (六) 指導の重點

要するに體育は教育的立場から生徒に本能としての走・跳・投を大いに發揮できるように運動を

實施させ、衛生教育を重んじて指導する。そして現在より將來は一段、二段と健康を増しながら日々の生活を營み、社會の一員としてはじない精神を培うことが肝要である。

そこで本校に於ける體育は調査と記録を行つて、運動と衛生が一體となつて行われるよう努力している。

## 二、調査と指導

生徒個々の身體狀況は、生來の體質と生活環境に支配されて、すでに本校に入學したとき千差萬別である。又そのことは生徒自身欲する運動が異り、男女別、學年別においてなおさら差が大きくなるのは當然である。そこで機會均等といつても、一つの運動を全體に行わせることは眞の機會均等ではなく指導上も適切でない。

この意味から各種調査を實施し指導して運動の効果を期待するのである。

體育に就いての生徒の感想文二、三を擧げてそれに基いた指導經過を述べよう。

### (一) 體育と生活

#### 感想文その一

「體育というものは體操と違います。體育は體操も行いますがスポーツ、ダンス、ハイキングも

行うのです。そして衛生の知識を習得して毎日晴々しくみんなと仲よく生活でき様ねに努力する科目です。ですから體育は私達の生活に切つても切れないものなのです。」(一年女子)

これは入學頭初體育の教科内容を話したあとで書いてもらった感想文の一部であるが、この生徒は體育と生活を結びつけ「體育は私達の生活に切つても切れないものです」と喝破している。

言葉は少いけれども體育の目的と方法とを自覺したものと見えよう。この生徒は體格よく活動的な性格をもち言葉もはきはきしている。

なおこの意味のことを書いたものは三六〇名中、八五%まであつた。説明を前以つて聞いているとはいえ彼等が體育の領域にある運動・衛生が生活上必要であることに氣付き自覺しつつあるといえよう。

### (二) 自發活動

ここに體育が教育活動の一つである以上單に生徒の自覺を待ち、又その活動をそのまま放置しておくことをもつて個人の尊重とし、自主的活動の強調であるといふことはできない。蔭かぬ種は生えぬというが、よい種を蒔いてよい苗を期待できるように、自發活動も體育の目的を正しく理解した生徒が行つてこそはじめて望ましい自發活動となるのである。我々は更にこの活動を指

導誘掖していかなければならぬ。

(三) 組わけによる指導

感想文その二

「學校での體育は普通であるが時間が少い。有効に時間を使うため次のようにやつたらよいと思います。

- a 班 體育の好きな丈夫な人
- b 班 體の普通な人
- c 班 體が弱く體育の嫌いな人

と分け、a 班は器械體操、b 班のような人は一般向きの體操(スポーツ)、c 班のような人は散歩とか、花壇に花を植えたります(園藝)等して體育の時間をみんなが愉快に自治的にやりたいと思います。夏休みは先生も一緒に歩いて海水浴や水泳をし、山にも登る。秋は野球をするようにして下さい。(二年男子)

右の意見は具體的になかなかよいことをいつているが所謂組わけによる指導である。そこで健康状況と本人の希望を調査して見た結果を整理すると、

- a 班に属するもの 二五%
- b 班 〃 六六%
- c 班 〃 九%

であつた。

この方法は運動場の狭い、用具・設備の充分でない現状からも大いに活用して良好な成績を挙げた。各班にはその責任者を決めて順次指導して廻るので一時間では充分意を盡し得ない場合が多く、いきおい過半数を占めるb 班の指導が重點となつた。この場合a 班はb 班と一緒にする。a 班又はb 班に属するものに對しては自由研究又は校友會活動に於てその力を一層發揮させ、天分を伸すよう効果を期待して指導に努めている。又c 班の活躍も素晴らしいもので校庭美化のさきがけとなつた。各班の編成は隨時調査、希望等によつて交代する。

(四) 指導力

生徒自身が體育の目的と方法を漸次自覺して來ると、我々は個々の運動、衛生の指導を適切にするための腕前と不斷の研究が必要となつて來る。更には用具、施設の完備、保存が問題となる。

(五) 校外の運動指導

感想文その三

「私は體育はとても好きです。けれども、やりたいときと、やりたくないときがあるのです。み



んなが遊びませう。といつても何もしないで本を読んでいたります。でもやりたい時等は明日試験だといつても遊んでいることがあります。私はこの頃朝早く永田さんと自転車の練習をしています。朝早くの空気がとてもよいです。これからは、朝早く起きて運動をしたいと思つています。(中略)姿勢を正しく本を読むには何らかの研究することも勉強だと思ひます。」

この生徒も體格よく成績もよい。又活潑で辯も達者である。時には責任感旺盛のため泣くこともある。この文から見出されるものは知識慾に目覺めるとともに運動を求め、然も心の動搖が甚しいこの時期の特徴を揮發していることであろう。もう一つには校外にあるときの運動や遊びに就いても學校で教えなければならぬことである。

家庭に歸つて氣輕に行える運動を指導しておくことは、この時期に最も注意を要する青少年の不良化防止の一策ともなるから是非實施することが望ましい。

三、衛生

(一) 身體狀況の調査

筋骨が急激に發達し、知識慾に目覺めるとともに急激な運動を求めていく時期である。男子の粗暴、女子のヒステリカルな感情、動作となつて現われる變動期に適した運動を指導するために

第一表

年	1	2	3	計					
粗暴と思われ るもの数	6	4	1	11					
智能指數の平均	84	81	80	81					
向性	内 2	外 4	内 2	外 2	内 1	外 4	外 7		
	身長 (Cm)		125		137		130		131
體重 (kg)		32.4		33.5		37.4		31.1	
胸圍 (Cm)		64.2		65.3		68.9		65.9	

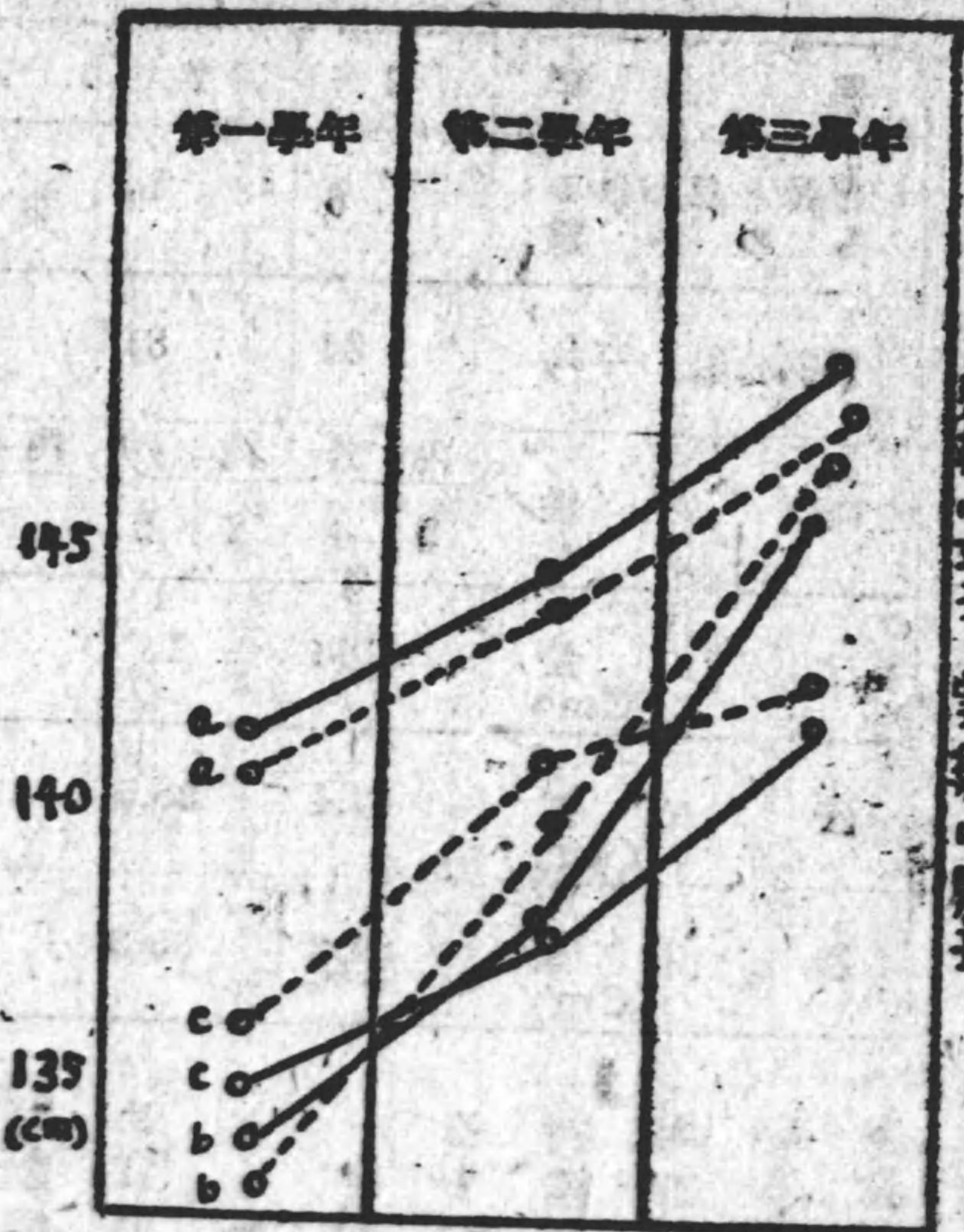
身體狀況の調査を行う。第一表は我が校に於て粗暴と思われもの學年、人数、向性、發育狀況を調べた結果であつて、これらの者は運動によつて漸次その性質を緩和するよう努めてゐる。

(1) 身長の場合

身長測定は學期毎に行ひ、急激に増してゐるものには運動量を加減するよう勸告する。特にビッチャー等は避けている。即ち身長が増加が身體の運動に對して抵抗力が弱まつてゐるからである。第二表は我が校に於いて五月身體検査を行つた結果と昭和十三年度港區

芝支所内同年齡のもの身長平均と、昭和二十二年港區内中學校男女生徒の平均身長とを比較對象したものである。

第二表

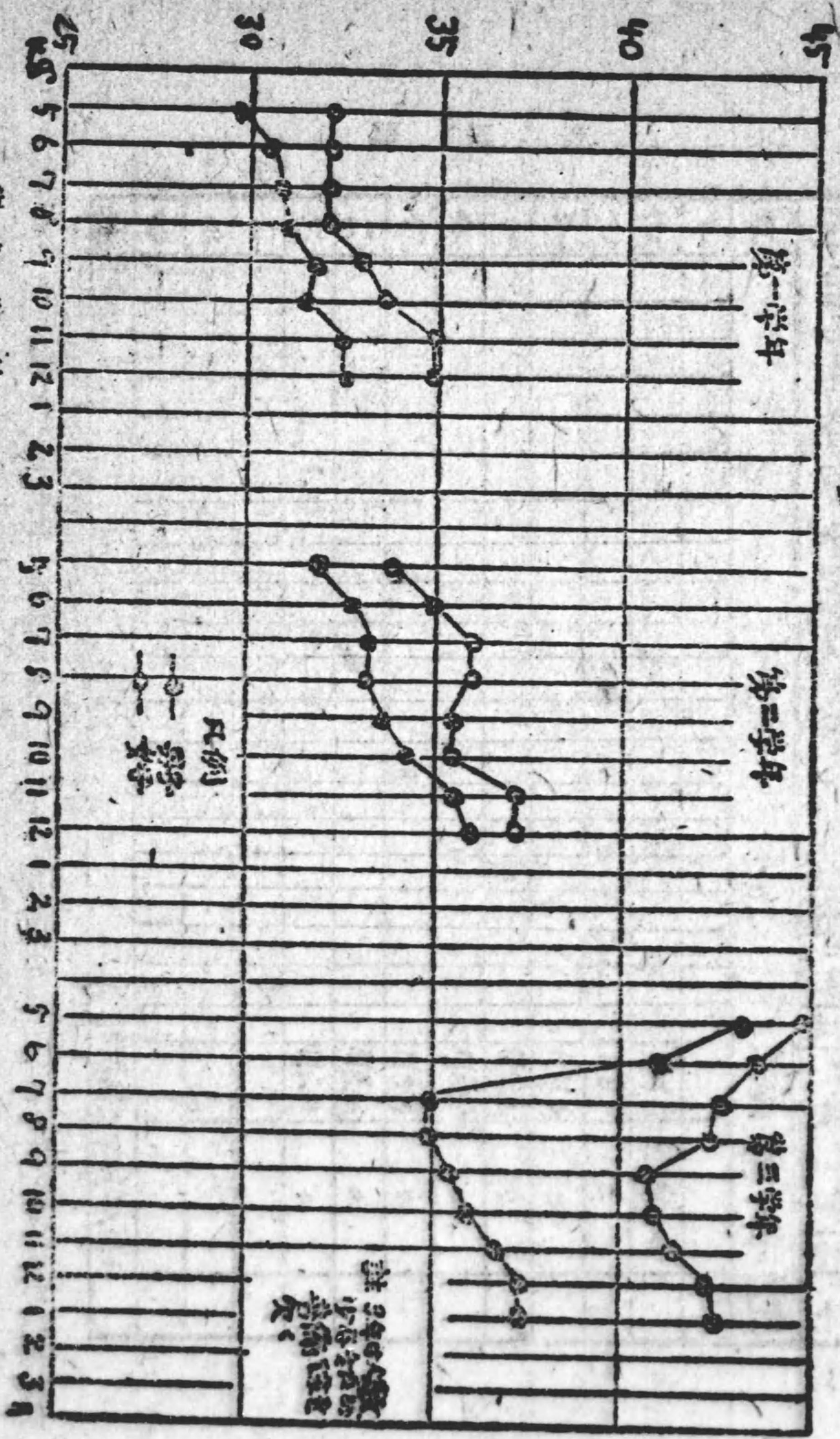


凡例  
 a 昭和十五年年度本校生徒の平均  
 b 昭和十四年度本校生徒の平均  
 c 昭和十三年度本校生徒の平均

(2) 體重の場合

體重は内臓の充實を示すから毎月、日を定めて測定すれば身體内部全般の發育狀況を概略知ることが出来る。又運動、衛生の適否或は效果の現れと見て爾後の體育指導の参考資料として最も役立つものである。第三表は毎月測定した人員の學年、男女別平均體重を表わすものである。然しながら第三學年の場合のように検査人員の少ない場合は、その移動(在籍生徒數)等によつて平均値は急激に変化して表われるから平均値の増減が必ずしも各人の平均體重の増減の結果と考えることができない場合がある。そこでこのような統計がその目的とし活用の對象である、生徒自身も調査の結果を知っている

第三表 月別體重測定表

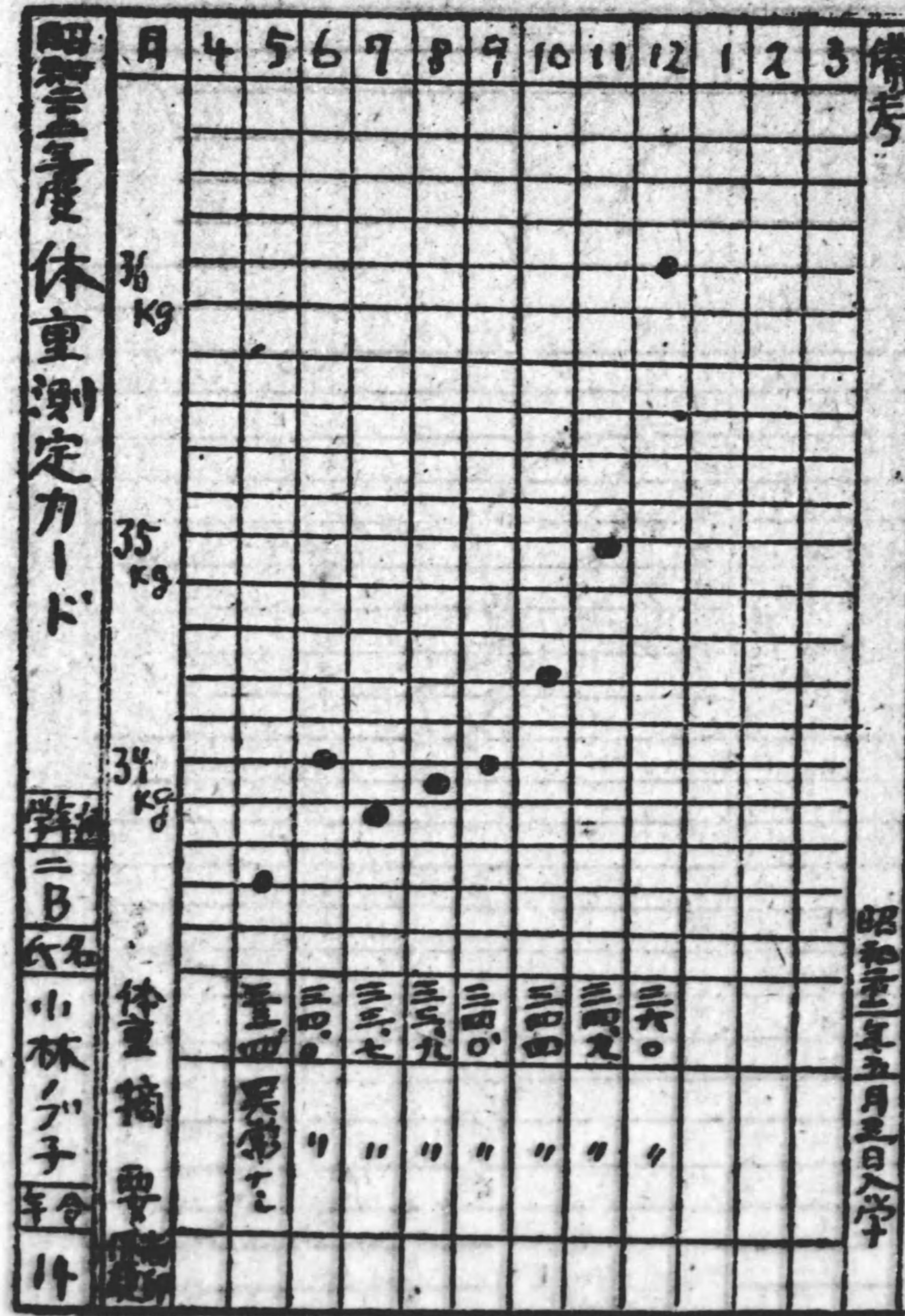


凡例

二二五

ことが肝要である。我々が指導上の参考資料とし、生徒自身自己の體位向上を見ることが出来る個

表 四 第

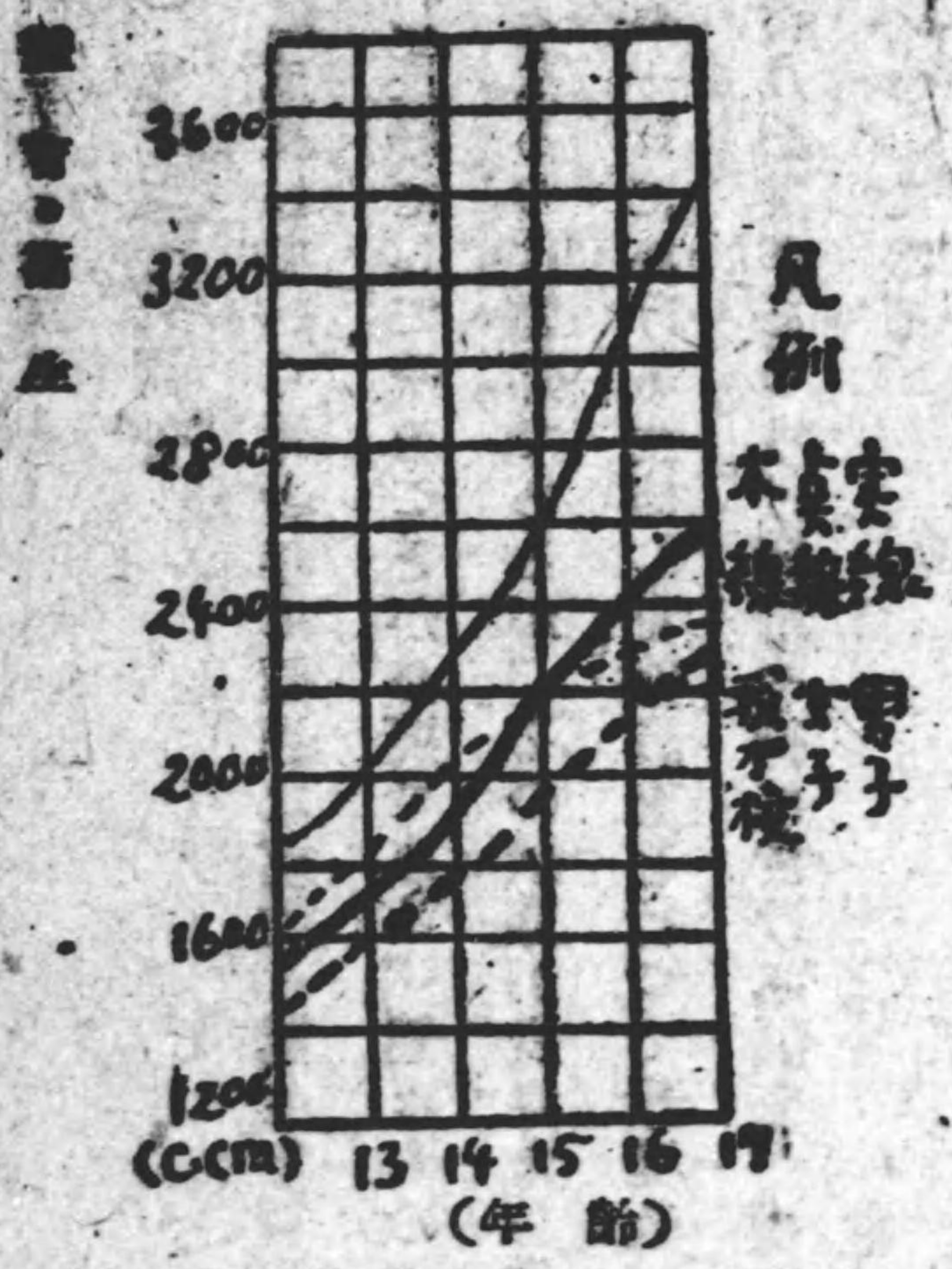


人調査カードが是非欲しいものである。左に掲げるものは我が校で使用している體重測定個人カードである。

(3) 肺活量の場合

筋骨の發達が身體の活動力に密接な關係をもつように、内臓の發達に就いても同様なことがいえる。中でも肺臓の發達は肺活量の測定によつて知ることが出来る。我が校では身長の場合のように學期毎に測定している。第五表は我が校生徒の肺活量と戦前に於ける全國平均肺活量との對照表である。

第五表



- 凡例
- 實線が男子
  - 點線が女子
  - 太線が我が校

(二) 生活環境調査

日々に成長していく青少年に適切な運動と衛生を實施して發育を助長するため、更に生活環境を整備し良好にしてやる必要がある。個々人の生活環境が複雑多岐であることは發育状態も區々となるのは當然であるが、その状態が良好な方向をとるよう指導することが肝要である。そのため、一日に於ける生徒の實態調査を行つて環境改善を指導し、生活指導を衛生、體育の面から充分行う必要がある。家庭や街に於ける調査、指導を父兄と連絡を密に行うことも是非行いたいものである。

第六表は生徒の一日の活動状況を調べたものであるが、放課後の生徒の遊びや運動を概略知ることができよう。これらの調査からも校庭及び學校施設の放課後使用方法も考え適切な指導を行うことが必要である。そこで我が校では午後四時迄は平常使用を許し、以後は重ねて許しを得るように懸けている。そしてその状況を巡視して指導と監督を行うよう努力している。

第六表 男子の遊び

種別	場所	相手の人数	時間
野球	校庭	約10人	約1時間
サッカー	校庭	約5人	約30分
バレーボール	校庭	約2人	約30分
トランプ	家	約5人	約1時間
種別	場所	相手の人数	時間
野球	校庭	全員	約1時間
馬飛	校庭	—	約10分
飛び箱	校庭	全員	約1時間
種別	場所	相手の人数	時間
理科	教室	全員	—
體育	野球場	全員	身をじょうぶにする
その他	その他	—	—

(一A) 小島信義

調査・調査

女子の場合

起床から就床まで  
 登校前 七時—八時迄  
 身なりをととのへて食事を  
 する。  
 親の上のせいとんをする。  
 放課後 二時三十分—三時半  
 そろじ後から馬とびをする。  
 帰宅後 四時—九時半  
 4—6 せいとん・入浴・  
 食事・そろじ  
 6—9.30 べんきょう・読書  
 おみもの・さいぼろ・ざつ鼓  
 (一B) 岡田佐和子

種別	場所	相手の人	時間
1 馬とび	運動場	7人—10人	1時間くらゐ
2 おみ物	こたつ	なし	2時間くらゐ
3 羽根つき	路地	2人—3人	30分くらゐ
種別	場所	相手の人	時間
1 とび箱	運動場	15人くらゐ	30分くらゐ
2 なはとび	野外	2人	20分くらゐ
3 ボール	運動場	30人くらゐ	40分くらゐ
文科系	英語・詩・読書	それぞれ知恵になる	
理科系	算 け	算理をすることが出来る	
体育系	テニス・バレー	のびのびとしてきもちよい	
その他	人形作り	かわいくておもしろい	

第七表

		公園・廣場	街 路	家の附	その他
男子	場所に対する数	21	11	130	34
	遊ぶ時間	2	1	4	2
女子	場所に対する数	5	7	154	11
	遊ぶ時間	1	1	3	3

上表からも體育の時間に家庭體育、例えば運動、遊びをも教え  
 ておくことが必要となる。

(三) 栄養攝取量調査

これは理科と連絡を密にして生徒自身の活動を中心に指導する  
 ことが望ましい。健康増進と體位の向上を計る基本的條件として  
 の日々のカロリー攝取量を調査しながら食生活に対する認識と運  
 動衛生の効果を科學的に追求しようというのである。それが例え  
 厳密な意味の測定が困難であつても、この仕事は理科、数学、衛  
 生、體育等を通して生活改善を期し、目的である健康生活の指導  
 となることは疑いない。

(四) 體力測定

以上のようにして各種調査を基に指導し一定期間を経た學期末  
 に體力測定を試みる。これは生徒に於ては自己體力の長短と身體  
 發達の状況を自覺することができ、指導上からは爾後の重點を何

におくかを見出して運動、衛生の實踐事項選擇の資料とする。又この資料は生徒の將來に於ける職業選擇の一條件として取擧げなければならぬものであるから是非行つておくことが必要である。左表は我が校に於て行つた平均であるが、検査成績を擧げるための練習は行わず平常の體力を測ることとした。従つて準備運動の後、日に數多く行うこととなく、一種目ずつ日を追うて行つた。體力章檢定の標準には及ばなかつたが、身體狀況調査と共にその結果が戦前に劣つてゐることは今後の體育が重い役割を荷負うてゐることを物語るものである。投球はソフトボールを用いた。

第八表

種目	男子	女子
100米	15秒	17秒
2000米	19分	22分
巾跳び	3.80m	2.15m
投球	24.3m	13.5m
握力	28.5kg	19.4kg
背筋力	84.3kg	52.1kg

(五) 衛生一般

本校に於ては六月下旬全校生徒にツベルクリン検査を行い陽性者六一%の結果を得た。六月二十一、二の兩日に互つた身體検査の際この検査結果を参考にして大いに役立つた。統計に出た結果は次表の通りである。

第九表

陰・陽性者數表

學年	一年		二年		三年		全校	
	男	女	男	女	男	女	男	女
陽	49	48	57	54	1	7	107	109
	62.9	71.7	63.3	65.8	33.3	63.6	62.5	68.1
陰	29	19	37	28	2	4	64	51
	37.1	28.3	36.7	34.2	66.7	36.4	37.5	31.9

陰・陽性者人數一覽表



定期身體検査の結果はこれを生徒によく認識させるため個人票を渡し、これを徹底させ要注意者、隠蔽者、疾病あるものに對し個別的に矯正、又は治療勧告を行つた。然しそれだけでは治療を怠るものがあるのを見たので芝保健所の御協力を得て陽轉者三十名の精密(レントゲン・血沈)検査を行い、要休養者三名、要注意患者一〇名を発見するに至つた。そこで本人は勿論、父兄にも連絡をし或は訪問する等して醫師よりの注意事項を傳達するとともに必ず守るよう重ねて注意を促した。

又トラホームの生徒六名は特に治療を要するものであつたので済生會病院眼科部長山崎博士の御協力を得て手術を受けさせ現在治療を繼續している。これは個人の立場よりも、公衆衛生の上からも當然治療しなければならぬことで生徒に認識させ、自ら進んで治療を心懸るよう折りある毎に注意と指導を続けなければならない。

その他毎月行う體重測定の結果三カ月も引續き體重の減少しているものには校醫の診断をうけたり、保健所に通つて診療を行つている。

四、男女共學と體育

教室では第一學年より第三學年まで男女同席としているが、體育指導に當つては一樣に行うこ

とが適切でない場合が多いので男女別々に行う。然し乍ら男女協同の精神を培う目的の下に一體となつて実施するようつとめ、例えば運動に於てバレーボールの混合チームの試合、テニス、ピンポン、羽付き、ベドミンソンのダブルスに於て男女一組にして行う方法をとリ、又衛生に於ては各種の検査、調査、記録について適宜男女分擔して一つの仕事を完成するように指導する場合同等である。

五、自由研究

第一學期には全校生徒の約半数が希望してしたので自由研究の時間は狭少な運動場と用具の不足に悩まされた。誰れも彼れもが運動をやることの困難なことから殆んど自治的な運動實施方法をとつた。即ち各個にグループ編成を行わせ、そのグループに運動計畫を作らせて實施に當つては巡回して指導することにした。

九 自治活動の組織と運営

學校教育が教師中心から生徒中心へと進められて來た今日、學習だけが生徒中心に自發的に行われればよいのではなく、學習以外のすべての學校活動も亦生徒中心に自發的に換言すれば自治

的に行われなければならぬ。ここでは學習以外の自治活動について我が校で實施しているものをそのまま述べて見よう。

一、自治活動の組織

(一) 學級委員

従來は各學級毎に級長と副級長が或る方法で決められ、これが級の代表となり中心となつて學級全體の世話をしたり時には教師の補助をもつとめて來たのである。しかしこれは同じ條件のもとにある生徒中、一人二人の特定の生徒が級長とか副級長とかの名目で、一般生徒の一段上にあるように考へたり、振舞うたりするのは不自然であり、平等にも反する。そこでこうした不自然な組織や名稱はやめて、この代りに生徒の互選による學級委員を男女各一名選出し、任期は一學期とした。選出された學級委員は、學習の面でも勿論學級の推進力となるが、その外學級の雰囲気や常に研究的に、明朗にして、對立的なものを作らないように、注意して行くことが大切である。ここで注意すべきは、學級委員はその學級の意志を代表することはあるが、過去の級長や副級長が一般生徒の一段上にあるかの如く考へられたのとは違ひ、どこまでも一般生徒と同一平面上にあつて彼等の代表であることである。こうしてみると學級委員に人を得ることは中々難事と

も思われるが、そこは互選によつて選出した學級委員であるから選舉した一般生徒にも責任ある事を自覺させ皆で協力してその任を完うさせるようにする義務を分擔させる。我が校では今迄に二回選舉によつて學級委員を選出した跡をみると、大體學業成績のよい公平な而も責任感の強い生徒が選ばれている。第二回目の選舉では第一回目の學級委員が約半数重任されたが、今日となつて結果からみると大體公平に選出されたと思う。

(二) 厚生委員

各クラスに互選による男女各一名の厚生委員を設け厚生部の活動をなすと同時に學級の厚生方面の世話をすることにした。教科書、學用品から洋服、靴等の配給品の取扱い、父兄會費、校友會費の集金納入等仕事は非常に繁雜である。したがつて厚生委員としては、學業成績もよく正直でまじめな生徒が望ましいわけであるが、今まで選出された厚生委員は大部分がこれにかなひ、一般生徒の信用も益々厚く未だ一度もまちがいを起したことはない。第二回目の選舉にも大部分重任された結果から見ても分ることである。尙厚生部の活動については別項で委しく述べることにする。

(三) 自治委員



各學級で互選によつて男女各一名の自治委員を選出し、任期は一学期とする。學級毎に一週一回、自治委員を中心とした學級自治會を開き、學校生活全體について種々話し合う。そして學級に關することは決議されたらどしどし實行にうつし、學校全體に關係した事柄であれば自治委員がその學級を代表して學級自治會の結果を持つて出席する。即ち自治委員は學級自治會の中心となり、決定されたことについての實行を促進し、自治委員會を構成して學校全體の自治活動について協議し、その遂行を促すのが任務である。自治委員には言行の正しい實行力に富んだ外向性の生徒が適する。

(四) 輪番制の委員

選出による委員の外に、學級毎に學級全員が輪番に擔當する種々の委員を設け、各自の責任と義務を完遂させる訓練をなし、協同の態度を養うこととした。輪番の順序は種々あろうが本校では機械的にアルファベット順に廻している。そして實行しているものは次のようなことである。

(1) 清掃委員

毎日の清掃は學級の人員を三等分し、更にこれを三分して自分達の教室、特別教室、舍外の決められた場所の三個所を分擔し、清掃の場所は順次に交代して行ふ。従つて一人の生徒は一週二

回清掃することになる。そして一組の中より輪番による二名ずつの清掃委員をあげ、委員は清掃終了後戸締りや用具の整理をなし、清掃の完全に終了したことを見きわめた上、その清掃區域擔任教師に連絡して歸宅するのである。

(2) 日誌委員

全生徒一日一名ずつの輪番制で、その日の行事や遅刻・早引・缺席等學級日誌に記入し、出席簿と共に學級擔任に提出する。我が校で只今試みている學級日誌の内容は次の通りである。

印檢	月	日	曜日	當番氏名
	行事			
連絡	1、時間制以外の諸行事について記入 2、變更時間制等			
反省	學校より、校委會の各部より生徒へ、又家庭への連絡事項等			
出席	今日一日の反省を記入			

考 備	生 徒 動	
	早 引	遅 刻
諸感想や希望等		

(3) 日直委員

二人ずつ輪番で一日交代とし、教室の整理、時間割變更の傳達、學習の準備等一日學級の世話をするのが任務である。具體的に説明するならば日直委員は當日早目に登校し、窓やらんまを開け一應教室の整理をし、時間割變更の掲示があつた場合は教室の背面黑板に書く等傳達し、理科圖工、體育等の時間には學習前の休憩時間に教科擔任の先生に連絡をとつて準備し、中學校向放送のある日はその題目の掲示等を行う。日直委員の活動もその日の學習能率に大きな影響をもつ大切な仕事である。

二、自治委員會

(一) 學級自治會

學級自治會は學級單位に一週一回自治委員を中心としてこれを開く。日時については自治委員が擔任教師と連絡の上、放課後、中食後の休憩時、或いは自習時間等を利用してこれにあて、話題としては學校生活に関するすべての事柄について話し合う。擔任教師も勿論出席し、自治委員が議長や進行係となつて協議を進めて行くが、協議が混乱したり、方向をあやまつたり、又行きつまつたりした場合にこれに助言を與え、正しい方向に伸展させてやる。そしてこの會で決議された事は實行にうつし、學校全體に關することは自治委員會にこれを提出する。

(二) 自治委員會

各學級を代表する男女各一名ずつの自治委員と教師により、毎週土曜日の放課後自治委員會を開き、生徒委員中より議長や進行係を交代で出して議事を進めて行く。議事は大體次の三つに別れる。

(1) 今週の反省

(2) 來週の勢力點

(3) 各學級よりの提出事項

自治活動の組織と運営

議事は活潑に論議されて行くが、意見が對立してまとまらぬ場合は決をとつて決定する。職員はいつでも發言して意見を述べると同時に、全體の空氣を正しい方向に指導して行く。又無理なことやまちがつたことが決議された時はよく説明して全體の反省をもとめ、どこまでも納得させるようにし、決して上からおさえたり強制したりしないように留意している。こうして決議されたことは翌週月曜日の講堂訓話の後で委員の代表から全校生徒に報告され、若し質問等があれば説明する。そして一旦全校で決めた事は全校でこれが實現に努力するのである。又この委員會で生徒側より學校へ希望を提出することもあるが、それは一應職員會にかけて決定しその結果を報告する。この場合にも出来るだけ生徒の意志を尊重することは云うまでもない。ここに最近の自治委員の結果だけ記し参考に供する。

(1) 今週の反省

- a、學級交代で毎日始業前約二十分間舍外清掃を行うことは大へんよく行われているが、落葉の時期でもあるから尙繼續する。
- b、キャッチボールを始業前と放課後決められた場所で行うことは大體よくなつたが、場所については少數の違反者がある。

(2) 來週の努力點

- a、舍外清掃はよりていねいにする。
  - b、キャッチボールは場所を守ること。
  - c、學校の品物は大切に取扱うこと。
- そして學校の品物は大切にする丈でなく、更に進んでいたんでいる物も澤山あるから修理しようとする云うことになり、その日時や方法は職員に一任することになつた。

(3) 希望事項

運動用具が少いから、足のこわれているピンポン臺を修理して貰い度い。更に出来る事なら新しく一臺購入して欲しい。

こうして開校以來學校行事のすべての面に生徒の意志も充分とり入れて來たので、兎角大人の頭で考え、生徒におしつけた教師中心の教育から段々生徒中心の教育へ移りつつある。今後も尙充分に生徒の意見をとり入れて學校活動を運営して行き度い。

三、校友會活動の發足

生徒の自發活動を要求する新教育に於て純粹に生徒が自主的に活躍する場のあつたことは大切な

ことで、このために設けられたのが校友会である。我が校では五月上旬より生徒代表と職員で数回協議を重ねて、活潑な意見の交換を行い會則の原案を作つた。この協議會では先ず校友会の意義を説明し、全員設立に賛成し、數カ校の校友会の會則を參考として我が校に最も適するようになされた原案の原案を中心として協議を進めた。生徒も職員も我等の校友会を作るのだという希望に燃え、眞剣に討議研究し、時には兩者の意見が一致しないで、次回に持ち越したこともあつた。しかし段々回を重ねると共に原案も練られ、相當修正して意見が一致したので五月二十七日午後一時全校講堂に集合し愛宕中學校校友会結成總會が開催された。先ず學校長より校友会の意義の説明があつて、次に原案を逐條審議し、結局満場一致で拍手の中に結成、即日發足したのである。次に我が校の校友会會則を擧げておく。

東京都港区立愛宕中學校校友会會則

- 第一條 本會は東京都港区立愛宕中學校校友会と稱する
- 第二條 本會は會員の身心の向上と福祉を圖ることを目的とする
- 第三條 本會は在校生を通常會員とし、現職員を特別會員とする
- 第四條 通常會員の會費は月額十圓とし、入會金は十圓とする。特別會員の會費は年額二十圓とする

第五條 本會には左の役員をおく

- 會長 一名
- 評議員 若干名
- 部長 若干名
- 副部長 若干名
- 委員 若干名
- 委員長 一名

第六條 會長には學校長之に任じて本會の運営を統べる

第七條 評議員は通常會員中より若干名、特別會員中より若干名各互選する

評議員の任期は一ヶ年とする

評議員は豫算決算及び企畫を議定し、その他の重要な事項を審議する

第八條 本會には左の部を置き目的達成のため活動する

總務部、文學部、英語部、科學部、數學部、美術部、音樂部、家庭部、體育部、厚生部

第九條 各部には左の役員をおく

- 部長 一名(職員)

副部長 一名(生徒)

委員 若干名(生徒)

第十條 委員は各部員中より互選し、副部長は委員中より互選する。委員長は副部長中より互選する。

部長は特別會員中より會長之を委嘱する。

部長は部員を指導し、副部長は部長指導のもとに各部活動の中心となる。委員は副部長を輔けて

各部の發展を圖る。委員長は副部長を代表し會長、特別會員、通常會員相互の連絡に當る。

第十一條 本會の會計年度は毎年四月一日に始まり翌月三月三十一日に終る。

第十二條 本會の會則は總會の議決を経て改廢することが出来る。

附 則

本會會期は昭和二十二年五月二十七日より實施する。

こうして我が校友會は生れたので、生徒は各自の希望によつて、厚生、總務の二部を除いた他の八部の何れか一つに籍をおいて活動にかかつた。先ず役員選舉を行い、次に選出された新役員を中心に行事計畫を話し合つて決め、夫々のコースに向つて出發した。一方では評議員會を開いて豫算について協議し豫算案を作成し、これを總會で承認を求めて成立した。

こうして發足した校友會の今日までの足跡については今ここに述べる紙面を持たないので何れ一年分の反省をまとめて發表し御指導を仰ぎ度いと考へてゐる。

四、厚生部の購買計畫について

校友會活動の一つとして厚生部がある。厚生部の主要な仕事は、生徒に日常所要の學用品を廉價に購入しうる便宜を圖つてやることである。その組織は一種の消費組合といつてもよい。現下の世情では物價の變動著しく特に常識はすれな物價高騰の烈しい時代であるから、かかる施設の必要であることは論を俟たない。實際に於ては本校創設間もなく、都の學徒授護會から公定價による配給品があつたり、業者からの申込みで希望者をまとめて用品を購入配分したりして居つたのだが、これは主に職員がその仕事に當つて、厚生部員になつてゐる生徒が品物を分配したり代金を集めたりした程度であつた。従つて其の仕事の段取りに煩しさがあつた、その進行も澁滞がちであつた。そこで生徒の自發的で活潑な活動を要求して居る新制中學校としては一日も早く有效に組織化してその活動を意義あらしめなければならぬ時機に立ち到つたのである。

このような實情と考慮のもとに計畫されたのは次に説明する購買計畫案である。この原案については既に夫々の段階を経、生徒の自治委員會にかけて最後の決定を見たので、いよいよ實施に

とりかかつているが、其の成果については他の機会に譲りたいと思う。

### (一) 目的

生徒の必要な學用品を低廉に仕入れて、市價よりは常に安價に配給し、且つその作業實習によつて職業的、社會的な基礎生活に慣れしめて行こうとするものである。

### (二) 委員組織

この目的を達成するためには、先ず以て人的な或る組織をもたなければならぬ。各方面に互る委員を設けることにした。

1、クラス委員 各クラスから男女各一名ずつの生徒委員を選出することにした。その一名はなるべく商業に興味をもつて珠算の出来るもので希望者から選出し、いま一名は一般的に適當と思われるものを選出する。その選出方法はそのクラスの投票によることとする。但しこの委員は一學期毎にその半数即ち一名だけ改選する。(無論再任はさまたげない) これは仕事の性質上即ち金銭物品を取扱うのだから仕事に慣れるということが、正確に敏速に處理する能力が養いえられ且つ相當な期間の練習が必要だからである。

2、指導委員 職員二名がこれに當り、購買活動一切の責任者となり且つ指導者となるのである。

る。

3、特別委員 この購買の仕事は物品金銭を取扱つて行く一種の商行爲であるから、生徒自身では勿論職員の指導委員だけでも解決のつかないことが起りうると思われるので、即ちP・T・Aの精神を取入れて、父兄會からは理事長と理事長の推薦による適當な父兄會員を若干名(四五名程度)と、學校側からは總務、教務、庶務の主任とが参加することとした。すべてこれは校友會長(校長)が委嘱するのである。

以上のような委員組織で運営に當るのだが、ここに特別委員會の性質について説明すると、必要に應じ會長が隨時に招集するもので厚生部の運営並に將來起りうると思はれる利潤又は損失に對する取扱上の根本方針等について協議する機關である。これには生徒は参加させないことにしたが其の協議した結果については適當な機會に生徒に發表して諒解を得ることは勿論である。

### (三) 購買實施構成

購買を實施するには次の構成が必要である。

1、運轉資金 前述のように職員が主となつて若干取扱つた購買の經驗によつても、適當な購入資金がなければ廉價な仕入もむずかしいし、仕事を永續することも困難になつて澁滞をきたすこ

とは明かである。そこで先ず資金確保ということをご考慮しなければならぬ。當校では次の方法によつたのである。

- イ、父兄會の補助、年額 約一萬五千圓
- ロ、校友會の豫算、年額 約五千圓

以上の金額は年額としてあるが、毎年これを繼續して支出するという意味ではなく、第一回の出資であつて運營の如何によつては、この第一回で爾後の補助等は不必要になるかも知れない。そうありたいのであるがそこに若干の含みをもつて居るわけである。

ハ、生徒の共同購入資金、一口三十圓として生徒数だけ出資させる。これは當計畫の主體をなすもので、この共同組織を理解し自己の有する力であることを自覺させる上にも是非負擔せしむべき資金であるから、在校生全部に出資させるのである。従つて新入生徒は入學の當初に於て、中途入學者はその都度出資せしめ、しかもこの出資金は卒業又は退學の際に必ず拂戻すことにした。

本年度は創設のことだから出資金も全額支出の上直ちに活動を開始することにしたのである。

2、取扱ひ品目、すぐ取扱ひたい品目は大體次の通りであつて、實情に應じて斟酌するつもりである。

ある。

ノート各種、鉛筆類、消ゴム、習字用紙、葉半紙、圖畫用紙、繪の具、筆墨類、定規コンパス類、生徒手帳、原稿用紙、帽章、パッチ、教科書配布、その他

3、仕入方について

イ、委員協議會、特別委員、指導委員、クラス委員による協議會を開いて仕入品目、仕入方法、販賣價格等を決定する。この際議長には校友會長がこれに當る。會長差支ある場合は學校側の委員が會長代理としてこれに當る。

ロ、仕入についての考慮點、I、販賣價格については、少くとも損失補填のために品目の原價に適當の利潤を見込んで出来るだけ低廉に配給しようように決定することである。此の價格は市價より安價であることが絶対條件であることを忘れてはならぬ。II、學用品を取扱つて居る關係方面（例えば東京都學徒保護會の如き）又は製造元、確實な問屋等と密接な連絡をとることだ。III、品目によつては委託販賣の便宜を與えることもあると思う。その際は適當な謝禮を賣上げ高に應じて受納しても差支あるまいと思う。IV、仕入品目の搬入を要するものは、クラス委員がこれに當ることとする。なおクラス委員に時々市價（小賣時價）を調べさせる必要がある。何月調

というような物價表をつくつておくことが價格の調節上必要なことと思ふ。

4、販賣方法について

指導委員の指導のもとにクラス委員が係員としてこれにあたるのである。

イ、販賣係 若干名 その取扱う仕事としては、Ⅰ、品目別出納簿と現品照合準備 Ⅱ、購入傳票一覽、現品選出、現金入手、傳票及現金を現金係に納めて領收傳票と現品を需要者に渡す（此の際購入通帳式のものを用うることが安全かも知れない） Ⅲ、随時品目價格表の掲示 Ⅳ、販賣終了後の處理（品目別出納簿と現品残高の照合、賣上高と現金係との照合等）

ロ、現金係 二、三名 Ⅰ、釣銭の準備 Ⅱ、購入傳票と同時に現金入手、受領證發行又購入通帳に受領捺印 Ⅲ、販賣終了後販賣高を記帳し現金と照合整理、指導委員に提出證認を得る。

ハ、購買場所 なるべく火難、盜難、濕氣等避けられる適當な室を選定すること。勿論完全な戸棚、錠前鍵の保存等特に細心の注意を拂うことが必要である。

ニ、販賣時間 毎週月曜日から金曜日までの五日間、晝食時三十分、放課後三十分、土曜日は休む。勿論必要に応じて伸縮することがある。これらはクラス委員の意見によつたもので、整理時間三十分から一時間位にとどめることにした。

ホ、所要帳簿類 銀行預金通帳（これは校友会厚生部長名義で、賣上金を即日又は翌日貯金する。拂戻も必要に応じてこれを行い、これらの取扱いは二名以上の生徒係員をして交互に實行させる）貯金及拂戻原簿、仕入帳、品目別出納簿、賣上帳、賣上傳票、出金傳票、入票傳票、領收書又購入通帳（生徒手帳の一部に印刷するも可）

ヘ、厚生部々員會 指導委員中心に随時にこれを開いて、正確迅速誠實な商行為について反省し研究し、その改善進歩を圖ることを怠つてはならない。

#### （四）購買實施報告

毎年父兄會、校友會の總會には豫算決算其他の狀況を報告してその承認を得ることにする。

#### （五）實施の準備工作

この案を決定するに當つては、學校職員會に圖り慎重に協議して原案を決定した。次に父兄會理事會にはかつて同意を求め、最後に生徒の自治委員に提案して生徒の意見をきいてその意志を充分とり入れて決定した。生徒の委員會に最後に提案することにしたのは、かかる組織は未経験者の生徒に立案させることは、無理を強いることになるからである。そして最後に生徒全體に案の内容を充分説明して納得させ、且つ父兄にも印刷物を送つて呼びかけるのである。尙おこれを



實施するに當つては、一應當局に諒解を得て置くことが手ぬかりのない仕方であろう。

## 一〇 運動會の經營

### 一、運動會の價值

運動會の目的價值については、それが學校行事の一つとして行われる以上學校教育の目的のわく外にあつてはならないことは云うまでもない。學校行事の中でも運動會とか、演劇會、音楽會展覽會、遠足というような大きなものは、教育のある一部面にのみ價值があつて、他の面から見ると授業がつぶれたりして却つてマイナスになるといふようなことがあつてはならない。それらは全教科の綜合學習であつて、學習の花ともいふべきものであらねばならぬ。こうした意味から一應各教科の面より考察して、準備の際にも総合的な効果を擧げるよう努力したいものである。

### (1) 國語

開會、閉會の際に生徒代表が挨拶する事は發表練習の最も華かなものであつて、發表者は勿論一般生徒も自ら代表の意りで考へて見ることも大切である。そして發表者の挨拶の内容や態度について自分の考へとを比較して自らの向上の資としたい。又小學校時代の友達へ運動會に招く手

紙を實際に出すといふような事は、これこそ生きた國語學習であつて、新教育の最も重要な位置を占めるものである。必要にせまられて自發的に學習すること、即ち學習を必要とする位置に生徒をおいてやるのが、自發學習の有力な一つの原因となる。次に運動會が済んでからこれを題材として作文を作ること古くから試みられていることであるが、これも意圖的に運動會の作文を作る目的をもつてよく注意して自らも演じ、他人のものを觀察しておく。そして出來上つた作文を皆で鑑賞する機會でも作れば、貴重な教材となり、有力な學習ができる。運動會が済んでから、遠くの友へ運動會の様子を手紙で知らせる事等もよい學習方法である。尙教材について或は創作したものについて振付し當日これを演技することにでもなれば一段の進歩といえよう。

### (2) 習字

運動會にはポスターを書いたり、番號札を作つたり、案内狀を書いたり、こうした生きた教材が澤山ある。こうした準備の際に生徒を充分活潑に活動させることによつて大きな効果が擧がると思う。出來上つたものは、大人のそれとくらべ、先生の作品にくらべて下手であつてもいいのである。教育に心ある人にとつてそれはどんなに貴く且つ立派に見えることであらう。

### (3) 社會科

社會科については特にその道德的實踐面については實際指導のよい機會である。即ち運動會が學校の全機能を舉げて行わるべき綜合學習である以上、職員も生徒も父兄も始めから終まで協同して實施しなければならぬ。即ち計畫から準備、當日の演技から整理まで、すべて三者の完全なる協力によつてこそ完遂され得るのである。ここで當日の演技の一部について考えて見ると、團體競争は全員共同目的に向つて心を一にし、その部分々々としての自己の責任を果すことに依つてのみ勝は得られるのであり、又個人競争に於ても、定められたルールを嚴密に守り、正々堂々と邁進して始めて勝つことができるのである。又生徒の全部について運動會を通して何か役割を與え、之を完全に果させることによつて責任觀念を養うことも大切である。こうして觀れば運動會と社會科の間にも重要なつながりがある。

(4) 數 學

諸準備品の數量や價格について豫算から決算に至るまでの取扱ひ、校庭の地取りやラインの組み合わせ、當日のプログラムの時間的な配當、走路の距離や時間を測つたり、兎角觀念的になり勝ちな數學にも、運動會を通して實習する材料が澤山ある。直接にはマラソンのタイムを測つたりして教材も得られるが、むしろその準備や整理に於て數學的價値の大きいものがあると思ふ。

(5) 理 科

放送装置のとりつけ、電氣時計の準備、レコード係等科學的な準備も數多い。演技についても理科的なものも考えられるわけで、今回實施した自轉車の運乗競争や綱引等は演技者は勿論觀覽者も立派な學習になる文でなく、むしろ物理學の實驗を行つてゐるとも考えられる。魚釣競争の魚はなるべく形や色の特徴の甚だしいものを選ぶ等は動物學の勉強である。以上は理科と運動會の瞥見である。

(6) 音 樂

開會の運動會の歌と閉會の東京都歌の齊唱、これらの伴奏や指揮も生徒の手で行ひ、演技間のレコード放送や獨唱も自主的に生徒にやらせてみた。レコードのリズムに合わせて踊る舞踏の輕快さは、演技者も觀覽者も一時は一つにとけ合つて世の憂さも忘れることであらう。音樂では當日發表する時間は僅かであるが、それまでに至る陰の練習を思えば音樂科としての學習効果は大きなものがある。

(7) 圖 工

會場の裝飾、アーチ、ポスター、諸演技に必要なもの等の準備から、役員徽章や賞品の整理ま

でほんとうに大切な部面を擔當している。そしてこの科目の仕事は大部分前日までに仕掛けてしまわなければならぬので準備期間中こそ大切な學習の時期である。しかし又當日になつてからも演技直前の準備係として活躍の場は大きく、そして仲々忙しい仕事である。

(8) 體 育

運動會の體育的價值については今更ここにこと新しく云々する必要はあるまい。只純粹な體育的なものに楽しい愉快さを大きくとり入れて、演技者も觀覽者も共に楽しむところ運動會の特質がある。否むしろ職員も生徒も父兄も一緒に楽しく一日遊ぶということに一次的な價值が存するとも云える。こう云う點からも今後の運動會經營がなされるよう充分考慮しなくてはならぬ。

(9) 職 業

前日までの諸準備として種々品物の購入、借り物の交渉、販賣部の經營に當つては仕入れから販賣、精算まで實習を通しての學習の機會はいくらかもある。受付から來賓の案内や接待は女子にとつて家政の貴重な實習である。その他旗や幕の修理、製作、負傷者の手當をする等數えあげれば限りないことで、結局前述の如く運動會は全教課の綜合學習となる。であるからこそ全校生徒

に一人の洩れなく何等かの部面を擔當させて準備から整理までに参加させ、綜合學習の機會を與えてやり、全生徒が價值ある貴重な一日を送るよう準備されなければならない。

以上は生徒の側から運動會の價值判断をして見たのであるが、その時にもよれたように職員、生徒、父兄が楽しく一日を送るためには多くの父兄から参加して貰う事が必要である。それは又運動會は教課の綜合學習である以上、三者一體となつて遂行してこそ始めてその効果を挙げ得るからでもある。こうして多數の父兄が運動會に参加し、運動會をすることによつて父兄同志、父兄と教師父兄と生徒の間が親密になつて行くことも大きな効果である。夢中になつて競争し、一生懸命に準備作業をしている中に名も知らない人とも話し合い、笑い合つていつしか打ちとけてくる。こうして打ちとけ合つた父兄同志、父兄と教師が後には直接學習の面にも語り合うようになつて來るのである。

二、運動會の性格

運動會の價値の項で述べたように、教師、生徒、父兄の三者が協力一致して運動會を經營してこそ始めてその目的を達することが出来るのであつて、これからの運動會は所謂 P・T・A の精神を基調として準備され、經營されなければならない。従來運動會と云えば、學校の職員、しか

も一部の職員によつて一方的に計畫され準備され、そして命令されて實施されたものである。即ちその學校の職員でさえも幹部や運動部の職員以外の者は、單に決められた通りに命令され働かされ、お手傳いするという形であつた。生徒に至つては、プログラムに依つて練習され、演技しその間に何れ意志作用をさしはさむ事はできなかつた。父兄はただ傍觀者であつて當日は何か御馳走でも作つて我が子の運動會を父兄席から見物してくるといふ純粹な第三者の立場であり、興業物を見るのと何等變るところがなかつた。これでは眞の運動會の目的を達することはできないのであつて、教師も生徒もそして父兄も運動會の主催者であり演技者であらねばならない。この意味から運動會の計畫も準備も實演も整理も、そして反省も亦三者でなされなければならぬ。左に我が校で實施した第一回運動會の跡を記録をたどつて掲げて見よう。

### 三、我が校の運動會

九月一日の第二學期始業式當日の職員打合わせ會に於て秋季運動會開催の件がとり上げられ、新制中學實施第一年度の今秋運動會を開催するかどうか種々話し合ひ、その結果結局實施することに決定した。その時次のような運動會實施についての基本方針を申し合わせたのである。

(1) P.T.A.の精神に則り職員生徒父兄の三者一體となつて運動會を實施すること。

(2) 體育的であると共に、楽しい運動會を開催すること。

(3) 時節柄出来るだけ經費を節約し、なるべく物品の購入をさけること。

(4) 時期は十月中旬とする。

(5) 場所は本校校庭を使用すること。

九月十一日父兄懇談會の當日、懇談會と平行して評議會を開き、この趣旨を説明し全員の賛成を得た。そこで父兄全體にこの決議を報告し懇談會終了後直ちに各學級父兄より二名ずつの運動會準備委員を選出し、生徒側よりは各學級より互選による二名の運動會委員を出し、職員と合わせて計三十四名からなる運動會準備委員會を結成し、引續いて第一回準備委員會を開いた。

### (一) 準備委員會

第一回準備委員會(九月十一日)

(1) 學校長の挨拶として「從來の運動會の性格を變えて生徒父兄職員一體となつて運動會を催し度いからよろしく御協力お願いします」との開會のことばあり。

(2) 運動會の趣旨説明

a、運動シーズンを迎え體育的な一日を通しその向上に資したい。

- b、物心兩面に於て貧困な生活をしてゐる昨令せめて一日運動によつて一日愉快に暮した。
  - c、生徒、父兄、教師の親和を圖る。
  - d 前記目的達成のため生徒・父兄・職員の三者一體となつて最初の計畫より始める。
- (3) 協議決定事項
- a、時期は十月十旬とする。
  - b、場所は本校校庭とする。

第二回準備委員会(七月十三日)

- (1) 日時は一應準備態勢に入つてから決定する
  - (2) 基本種目について
    - (a) 個人競争(興味あるもの) 生徒・父兄・職員 一人二種選擇出席
    - (b) 團體競争(クラス對抗) 生徒一人二種出席
    - (c) 學校ダンス(女子) 三種位
    - (d) その他について
  - (3) 賞品は個人競争の一、二、三等に授與する
- 一等賞 二〇圓

二等賞 一五圓 } 一回四五圓で八〇回分準備すること  
 三等賞 一〇圓

- (4) 經費豫算
- (a) 賞品代 三、六〇〇圓
  - (b) 備品消耗品謝禮金 二、五〇〇圓
  - (c) 反省會費 九〇〇圓
- 合 計 七、〇〇〇圓

- (5) 都關係、區關係、區内中小學校へ案内狀發送する
- (6) 販賣部設置の件

第三回準備委員会(九月二十五日)

- (1) 期日は十月十二日(日)午前八時半より午後三時まで
- (2) 個人、團體、ダンスその他種目決定
- (3) 飾りつけについて
- (4) 諸準備品について
- (5) 賞品について

中學校の新經營

- (1) 一等賞 ノート二冊
- (2) 二等賞 ノート一冊、鉛筆二本
- (3) 三等賞 ノート一冊
- (4) 参加賞 鉛筆二本
- (5) 幼児レースは飽とし、外に理事賞も出る事となつた。
- (6) 販賣部は、りんご、みかん、梨を販賣する。その仕入れについて協議した。
- (7) 前日までの諸係決定

第四回準備委員会(十月四日)

- (1) 萬國旗の飾は研究の結果とすやめのこと。
- (2) 準備経過報告
- (3) プログラム決定
- (4) 當日の役員決定

種別	職員数	父兄数	生徒数	合計
會長	1			1
副會長	1			1
理事	1			1
職員	1			1
父兄		1		1
生徒			1	1
合計	4	1	1	6

進行放送	1	1	2	4
準備	2	3	22	27
指導	1	2	6	9
演技	3	2	6	11
賞品	1	1	6	8
販賣	1	2	6	9
衛生	1	2	2	5
整理	1	2	6	9
受付案内接待	2	2	2	6
進行演習の件				
前日の諸準備の件				

(三) 實施

當日の記録に依れば一種目毎に委しい感想もつけて残してあるが、餘り長くなるので次に反省

會の項でまとめて要項を述べることにする。

### (三) 反省會

十月十六日の放課後職員、父兄生徒側委員出席のもとに反省會が催され熱心に討議され、將來に尊い資料を残した。次に當日の要項を記録して本項を終ることとする。

#### (1) 期日について

十月十二日、日曜日、運動會を開くには最もよい時期で、日曜日を避んだのは本校運動會の性格上より多くの父兄側参加を希望したためであつたが結果から見ても大變よかつたという結論を提した。一ヶ月餘の準備期間をとつて充分準備も出来たので當日は大きな落度もなく特に時間は既定通り進行することができた。結局何事にも準備が大切であるという尊い教訓を得たわけである。

#### (2) 場所について

場所については最初から學校の運動場では狭いからとつと廣い所を借りて實施したいという意見もあつたのであるが、兎も角今回は生徒數も少いことであるし、狭いながらも我が校庭で楽しい運動會を行うという事に決まつたのであつた。しかし實際行つて見ると一回八十米の走路しかとれぬ校庭では、何だか物足らぬ窮屈な感じがないでもなかつた。生徒側より来年度はもつと廣い場所でもつとつと借りたいという希望も相當

出た。

#### (3) 運動會の性格について

従來の體育一天張りの競技會ではなく、P・T・Aの精神を基として楽しい運動會にしようとして計畫し準備され、そして實施したのは大變よかつた。お母さん方の出席はまだ充分とは云えないが、お父さん、兄さん、姉さんの出場もあつて大變愉快な演技が展開されたのであつた。特に幼児レース、弟妹レースは定數の倍以上も出場があつて準備した賞品では間に合はず、賞品係が大あわてであつたのは嬉しい替りかであつたらう。来年度からはお母さんにも澤山参加して貰うように計畫しようとして話し合つた。

#### (4) 出場種目について

生徒は出場回數を定めて種目は希望によつたのであつたが、この方法は大變よかつた。職員と父兄は當日選擇して個人競争二回まで出場出来ることにしたが、出足による缺點があつたので、之も矢張り豫め希望をとつて組合せておいた方がよいということになつた。

#### (5) 個人競争と團體競争

團體競争の數が少なかつた。對クラス、對學年競争のような熱のかかる種目をもつと多くして運動會をもつと活氣づけたいとの希望があつた。之等は来年から種目編成上大いに参考となることであらう。

#### (6) 教師の出場について

生徒の意見として教師の出場が少なかったということであつたが、これは手不足のためであつたので、来年からは生徒がもつと活躍して呉れるようになったら、どしどし出場出来る事であろう。教師が出場すると生徒は大變よることんで盛んに厚投してくれた。

(6) 賞品について

マツソンの賞品は他のものより少し重く見て、よい物を出し度いと希望が出た。又幼児リースと弟妹リースの賞品が不足になつてまごついたが、題目によつては賞品の餘裕をとつておき度いと願もあつて反省させられた。

(7) 賣店について

釣鐘がなくて困つたと泣販賣係の座場であつたが、これはもつともなことであり、準備の手落ちで充分注意しなければならぬ。

品物の種類についてはもつと多くしたいとの意見であつたが、之も始めての計畫であつたため内輪にしたので、次回はもつと擴張して見たい。尙賣店の位置についてもまだ考慮しなければならぬこともある。しかし仕入品は全部賣上げることが出来たのは係員の努力もさることながら、一應成功したものと云えよう。

一一 父母と先生の會の運営

一、本校の會

本校會は舊愛宕小學校として本年三月迄使用されたる建物で都心に位するため自校以外のたとえば校長會とか、教育局關係の會場にも、しばしば當てられたのである。この舊小學校の後援會は永く愛宕の名にふさわしい歴史をつづけて來たが六三制の實施に伴つて遂に昭和二十一年度を最後に發展的廢校を斷行するの餘儀なきに至つたのである。

これは新制度實施に際して教育の將來性を考慮された對策に外ならなかつた。しかも其の背景をなす小學校地元後援會一同の温情ある大乗的な了解のもとに單獨の新制中學校の開設を迎えたことは、他に類例を見ない圓滿な解決によるもので永久の美談として我が校の沿革史を飾るのである。

ここに廢校を免れた此の本建築校會は港區立愛宕中學校の門額と改められたが、その名、愛宕の如く過去を生かし更に新制中學校の將來を展望すべき校會であることを確信する。又終戦後に於いて愛宕の不備となつた現状にも拘らず、舊後援會一同が愛宕された所の精神の物質的に絶大



な支持援助の賜物とその恩恵には強く感激したのである。開校式に臨んでは、生徒・職員・父兄は、この美しい犠牲に勵まされ、學區地元の父兄からの熱意も益々高潮したのである。先ず店開きには經費の問題が最初に来る。公費もなくして運営に支障なくするために、父兄側の物心両面の後援を得たことは、その芽生えに於て善後援會が既に美しい種子を蒔かれたからである。そして目まぐるしい活動は短い第一學期間に見る見る成長の芽を伸ばした。

港區内の中學校は揃つて、父兄會といふ名前をとつて發足し、その會則起草修正成立に至るまで父兄會の熱誠なる總意によつて誕生した。其の精神は、あくまでP・T・Aの精神をとり入れられたのである。即ち従來陥り易い所は、父兄側が單に經費の後援者であると考えられたが今や學校側と協力して同じく教育の責任者であることをお互に念願して、父兄會の新會則は成立したのである。

東京都港區立愛宕中學校父兄會々則

第一章 總 則

第一條 本會は東京都港區立愛宕中學校父兄會と稱する。

第二條 本會は學校と家庭との緊密な連絡による民主的運営によつて生徒の教育目的達成に資すると共に

會員相互の親睦を厚うするのを目的とする

第三條 本會は事務所を東京都港區芝公園四號地の東京都港區立愛宕中學校内に置く

第二章 事 業

第四條 本會は其の目的を達成するために左の事業を行う

- 一、諸般の設備充實の補助
- 一、臨時施設運営の補助
- 一、生徒の德行學業並びに健康増進の奨励
- 一、生徒の見學及び實習の便宜供與
- 一、職員の見學・研究の補助
- 一、講習・講演・研究会及び懇談會等の開催
- 一、職員の慶弔並びに轉退職其の他の慰勞
- 一、其他學校教育上必要と認める事項

第三章 會 員

第五條 本會々員は東京都港區立愛宕中學校生徒・父兄及職員を以て組織する

第六條 東京都港區立愛宕中學校生徒の父兄並びに職員は其の子弟の本校入學並びに本校担任と同時に本

會員たる資格を得、其の子弟の退學・卒業並び轉退學と同時に其の資格を失う  
第七條 會員は毎月一口以上の會費を負担する、特に本會の目的に賛同して年額百圓以上を納入するものは其の年度中賛助會員とする

第四章 役員

第八條 本會に左の役員を置く

理事 一三名(理事長・副理事長二名を含む)以内

評議員 三三名以内

監事 二名

第九條 役員は左の方法により之を選任する

理事長は理事の互選によつて定める

理事及び監事は評議員會に於て選任する

但し兼任することは出来ない

評議員は總會に於て會員中より選出する

本會に顧問を置くことが出来る、顧問は評議員に於て理事長が之を推薦する

第十條 役員任期は一年とし重任することを妨げない。補缺により就任したる者の任期は前任者の任期

顧問とする

第十一條 役員は左の職務権限を行う

理事長は本會を代表して會務を統理する

副理事長は理事長を補佐し理事事故あるときは其の職務を代理する

顧問は理事長の諮問に應じて意見を述べ

理事は理事長の命を受けて會務を掌理する

監事は本會の事業並びに會計を監査する

評議員は本會に關する重要事項を協議する

第五章 會議

第十二條 會議は總べて理事長が之を招集して其の議長となる

第十三條 會議を左の三種に分つ

一、總會(定時・臨時) 二、評議員會 三、理事會

第十四條 議事は出席者の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる

第十五條 總會は毎年一回(四月)これを開く

但し必要と認むるときは臨時總會を開くことが出来る

文部と先生の會の運営

第十六條 定期總會に於ては左の事項を行う

一、前年度の收支決算及び其の年度の豫算其の他會務の報告

一、評議員の選出

一、其他重要事項の議事

第十七條 評議員會は隨時に之を開き左の事項を協議する

一、理事の選出

一、前年度收支決算及び其の年度の豫算の審議

一、其他理事會に於て必要と認めたる事項

第十八條 理事會は隨時之を開き左の事項の執行に關して協議する

一、豫算及び決算の執行

一、其他理事長に於て必要と認めたる事項

第十九條 本校職員は必要に應じて各會議に列席し意見を述べることが出来る

第六章 會 計

第二十條 會計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

第二十一條 本會の經費は會費寄附金其他の收入を以てこれに當てる

第二十二條 收支決算は理事の監査を経て其の意見と共に評議員會の認定を要する

附 則

第二十三條 理事長は評議員會の協議を経て本會々則の施行に關し必要な細則を定める

第二十四條 本會々則は總會の議決を経て改定することが出来る

第二十五條 本會々則は昭和二十二年五月十九日より施行する

以上

この會則に示す通り本會は現役の父兄と教師と約三八〇餘名の會員よりなり、會費も毎月初旬に徴収している。区内中學校の申合せによつて一口金拾圓という低額を基準としたのは出来るだけ父兄の負擔軽減を考慮したのであるが、併し現下の經濟情勢の變移に應じては何時でも父兄は眞剣にその熱意と協力を示すために口數増加に伸縮の弾力性をもたせたのである。役員の選出も圓滿に決定して直ちに事業の實現を圖り第一年度の豫算も低額ながらも確保することが出来たのである。

○父兄懇談會

P・T・Aの精神を實現するために毎月少くとも一回は父兄懇談會を開催して授業參觀と併せ

て父兄と學校との連絡を計り、又學級擔任と父兄とのクラス懇談會は勿論のこと、更に各學年別の座談會を開いているが、なかなか有意義な結果を見出すことが多いのである。

學年毎に父兄共通の意見とか質疑・協議又は申合せとまで進むことがある。その例として男女共學の實施に伴う父兄各自の意見の交換は教育上大いに参考となり、又學習態度や訓育上の問題を父兄側から提出されて學校側と相提攜せねばならないことを痛感されるのは、新教育上によるこぶべき傾向である。

特に膝をつき合わせての月例のこの座談は日没を忘れて、まじめな懇談が續けられることは珍らしくないのでその効果も大きい。

### ○講演會

父兄・教師・生徒の合同の聽講を受ける講演會は毎月行事の一として豫定され、主として體驗を語る講師を招いて新教育に沿う社會的・文化的の教養を高めることに努めている。母姉の來聽者が次第に多くなりつつあることは望ましいことで、生徒の感銘と反省を起させる點も亦大きな收穫である。

### ○講習會

父兄が職域奉仕の意味を以て教育上に於て生徒に協力される會合も臨時に催すことがある。圖書指導に經驗のある父兄が圖書に専門的な立場から學年即應の野外寫生等の實習の指導を課外に行い、生徒の興味を起させ終つて後の批評鑑賞等の諸注意は大いに興味深いものがある。

### ○學校行事に父兄の協力

運動會・校外教授を始め臨時の行事等については生徒と教師の外に父兄の委員又は有志の協力が大きいものである。

特に春秋の運動會及臨時の記念式等は父兄と生徒即ち親子・師弟というなごやかな準備委員會を以て隔意なき意見交換をして企劃を練り調査を重ね實施に移る等は開校當時からの機運でもあり、延いては創立の精神を發揮しているのである。運動會・遠足には直接に父兄も参加して生徒を激勵すると共に一面に於いては教育の民主化に努めている。

### ○P・T・Aとの關係

さてP・T・A結成の運動が昨年から世論に上り、本省としては十一月頃から話題に出たのであるが、これは本質的には、將來の教育の方向を示すもので教育の民主化の基盤となるものである。現在の段階では、まだ父兄會という名稱を用いているものも少くないが、しかし結局は、生

徒に對しての先生と父兄とが一つになつて協力しようという氣持が現われることを主眼として進むべきである。

この見地から本校の父兄會は在校生徒の父兄と現職員とが生徒を對象として父兄會という名前で先ず組織され、その子弟の教育には共同の責任を分擔して行く考案で進んでいるので、實質に於いてはP・T・Aの考案方と全く一本建といつてよい。そこで毎月の會費は勿論、父兄だけの經費負擔というものでなく、教師も二口以上は納入することになつてゐる。これ等はすべてP・T・Aの性格を示す一つのあらわれである。

## 二、聯合會

港區立中學校は同日に開校して本區内は各校一様に先ず父兄會と名付けて、それぞれP・T・Aが発足した。

併し本區としては區内同環境にあつて、各校毎に甚しい差異を生ずるのも好まないものであり、又父兄民間の聲を反映協力させ健全雄大な教育を助長させる意味で、港區新制中學校父兄會聯合會を結成する要望が強くなり港區役所會議室で數回の打合せを経た結果、遂に本年九月二十七日これが結成を見るに至つた。

その最初の運動として追加豫算の大削減を父兄としても黙視することが出来ないとして學校設置管理の當面の責任者である區長に會見し、これが對策について要望した。此後大いに教育世論を喚起して新制中學校の健全なる發達に寄與する使命をもつて進出することになつてゐる。その會則は次の通りである。

### 東京都港區（新制）中學校父兄會聯合會々則

#### 第一章 總 則

第一條 本會は東京都港區新制中學校父兄會聯合會と稱する

第二條 本會の事務所を東京都港區芝白金三光町六五番地朝日中學校内に置く

第三條 本會は東京都港區立中學校・委託私立學校及びこれに準ずる學校の父兄會を連合して（新制）中學校教育に必要な諸問題の調査研究をなし學校教育に寄與すると共に健全な教育世論を喚起して中學校教育の振興を圖ることを目的とする

第四條 本會は前條の目的を達するために左の事業を行う

1、教育振興父兄會議の開催

2、教育行政に関する調査研究並に意見の具申

父兄と先生の會の運営

- 3、學校關係當局との連絡及び協働
- 4、各(新制)中學校父兄會及教育諸團體との連絡
- 5、其他本會の目的達成に必要な事業

第三章 會員及び會費

第五條 本會は東京都港区立中學校・委託私立學校及び之に準ずる學校の父兄會を以て會員とする

第六條 本會の會員は毎年五月末日までに會費として金五〇〇圓を納付するものとする

第四章 役員

第七條 本會に左の役員を置く

理事長 一名

副理事長 二名

理事 若干名(内若干名を常任とする)

監事 二名

第八條 理事長は本會を代表し會務を總理する

副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときは其の事務を代行する

理事は會務を執行する

第九條 理事は本會構成各團體毎に各二名宛を推薦するものとする、理事長、副理事長及監事は理事の互選により之を選出する

第十條 役員は任期は何れも一ヶ年とする

補缺により選任せられた者は前任者の残任期間とする

第十一條 本會理事長の顧問機關として顧問を置き加盟父兄會當該中學校長を推薦する

第十二條 會議は理事長之を招集する

但し理事半数以上の要請あるときは臨時に總會を開くことができる

第十三條 會議の決定は出席者の多数決により可否回数の上は議長之を決する

第五章 經費及び會計

第十四條 本會の經費は會費及び寄附金により之を支辨する

第十五條 本會の會計年度は四月一日に始まり翌年三月末に終る

第十六條 毎年度の豫算及前年度の決算は理事會の承認を経なければならぬ

附 則

第十七條 本會會則は昭和二十二年九月二十七日から之を實施する

第十八條 本會の會則は總會の議決を経なければ之を変更することはできない

父兄と先生の會の經營

なお、都内各區郡市にも、次第に父兄會連合會（又はP・T・A連合會）が結成されつつあるので、都内全域に亙る連合會の結成も近いことであろうと思う。又これと並行して目下全國を対象とするP・T・A結成準備の中央本部も設けられているので、P・T・Aの學團的な大同團結も遠い將來ではあるまいと思う。

## むすび

われわれの合作で、ともかくも本書が書き上げられた。開校以來、目まぐるしい多忙の毎日を送り迎えているわれらにとつて、一冊の書をまとめるということは容易なことではなかつた。書肆の催促をうけながら鞭撻されて、漸くこれまでにまとまつたようなものである。従つて首尾一貫した文脈を以てすべての章句が布置されているとはいひかねるものがないでもない。殊に本書を貫く理論と實踐のレポートとが、いわゆる「優秀デジニタルト」の姿に編まれているというらみは確かにある。實は「基本となる考え方」の中の「經營の形態」の章は、「實際の歩み」を縦貫していなければならぬのであつて、即ち「經營の方針」、「經營の組織」及び「組織の機能」が骨

格となつて、「實際の歩み」がそれぞれに分屬し、編集されなければならなかつたのである。ところが、それだけ周密な編集をするだけの協議時間を持たなかつたので、やむを得ず「基本となる考え方」だけをとり出して先ず巻初にこれを掲げ、次いで「實際の歩み」をとりまとめて後に記載するという形式をとつたのである。この點は次の機会においては一層よく首尾一貫するものに改めたいと思う。

次に「實際の歩み」においても、何にせよ發足してまだ日が浅いので、われわれが實踐上解決し、克服しなければならぬ幾多の問題について、まだ十分の答えが出されていないということである。

なかならず教科經營の面においては、確信のある實踐報告とまでは行つていない事項が少なくない。一應の立て前を述べている向が多く、わが校独自の歩みを詳細に述べて、その結果を報告するといふ段取りまでに至つていない。この點が本書としては最も意を盡し得なかつた面である。しかし讀者にとつて最も知りたいところもこの面であろうと思うので、今後の經驗を通して近い將來に、詳細な報告を出したいと念願している。

最後に、本書を貫く理論は、ヒューマンイズムを經とし、いわゆる有機體說的世界觀を緯として

12252

いふ事があるを歴史は来すかれることと思ふ。今日の新しい社会科の批判に屈らし出せば、有機的歴史的世界の如きは、歴史の進行方向に後向きに立つていると評されるかも知れないが、われらは決して歴史の歩みに背中を向けようという考へはない。ただ教育の仕事は必ずしも、國等をもつて終始すべきものか否かについては多くの疑を持つてゐる。窮極は「和」でなければならぬと信じてゐるのである。

### 中學校の新經營(終)

昭和二十三年五月十五日印刷  
昭和二十三年五月二十日發行 定價百圓

著者 野口彰  
發行者 藤原政雄  
印刷所 研文社  
代表者 中川二郎

東京都港區南佐久間町一ノ七

東京都中央区入船町三ノ五  
發行所 明治圖書出版社  
電話兼地(55)〇八六七番  
振替東京一八五一三番

東京都千代田區淡路町二ノ九  
配給元 日本配給出版株式會社



1038



374.1  
N93

